



VOL 39

2010年9月号
発行2010年9月1日
日本山岳会 山岳地理クラブ
URL www.jac.or.jp/doukoukai/

旗による通信の可能性

近藤 善則

古代通信の可能性の一環として、旗による実験を試みた結果の報告です

煙は風の影響を受けやすく、発炎筒程度の煙では安定した結果は得られない。また山中での直火は問題がある。

光は太陽が出ているときに限られ、固定方法に工夫が必要で、位置の確認は可能だが通信ができる域には達していない。等々、古代の通信再現は足踏み状態が続いているが、もう一つの旗による実験をこのほど実施してみた。

大きければ大きいほど視認性が高いが、山行時に持参できるサイズを考慮し、たて1mよこ2mの蛍光カラーの布を旗にして3色(ピンク、オレンジ、イエロー)作成した。

これを写真のように竿にくくりつけ、見晴らしのいいところに固定しどのくらいの距離まで視認できるかということを試した。



場所は長野県東御市の台地から、千曲川の対岸東部湯の丸IC付近(約3.4km)と戦国時代の烽火台跡である祢津城跡(4.8km)の見通しのよい場所で観察。

理論上3色の配列方法で6種類、同じ色の組合せを加えると27通りのメッセージが伝えられるのではないかと考えた。結果3.4km地点では肉眼でオレンジが一番視認性がよいことが判った。ピンクはオレンジと同じ色に見え、イエローは確認しづらい。しかし4.8kmでは肉眼では不可。単眼鏡によりなんとかオレンジが確認できるだけで3本立っていることは判らず、本数や振り方の違いは確認できそうもない。このことからオレンジ色の旗で4kmぐらいが限界。配列の組合せでは複数のメッセージを伝達することができないが、本数の違いでなんとか確認できることがわかった。無制限に本数を掲げることはあり得ないので、せいぜい3本・3種類ぐらいが妥当のところだろうか。

ということで、次なる目標は実際の山岳地で山頂どうしの通信を実行したいと考えている。4kmぐらいの間隔でふさわしい場所を選定中だが、一つの案として上高地をベースに西穂と六百山間はどうかだろうか？

行きましょう 大菩薩峠

日時：平成22年11月6日(土)~7日(日)
集合：JR塩山駅9:30(タクシーで柳沢峠)
6日 柳沢峠-大菩薩峠-福ちゃん荘(宿泊)
7日 福ちゃん荘-大菩薩峠-石丸峠-牛ノ寝通り-鶴寝山-松姫峠 or 鶴峠 (バス or タクシー)
詳細は9月定例会にて 問合せ・担当 川口

行きましょう 予定日が変更になりました

浅間山北麓の火山地形と草軽鉄道跡
日時：平成22年10月2日(土)~3日(日)
集合：軽井沢駅9:30(旧軽井沢駅舎記念館前)
宿泊：ログペンション・シャンブル(嬬恋村鎌原)
内容は前回AGCレポート(vol-38)の通りです
参加申込み 9/8まで 担当 近藤

例会の議事録 8月定例会記録

2010年8月11日(水) 19:00~20:05 於JAC 集会室
出席者10名(北野、平野、近藤、遠山、高橋、鶴田(泰) 森合、山崎、川口、今井(順不同))
内容：古代通信の実地試験結果(多摩川、江ノ島、長野県東御市で延べ5日間)まとめ報告。詳細は別紙「山岳通信DATA」。(近藤) 浅間山(長野県)北麓の火山地形観察と登山計画を10月2日(土)3日(日)で計画する。当初の予定は9、10日であったが、連休混雑を避けるため変更した。申し込みは9月3日まで。詳細と申し込みは近藤まで。(近藤) 国土地理院登山道調査について対象山岳のリストが宮崎副会長に届いた。未調査のリストは後日知らせるとの連絡であった。(遠山) 多摩川分水界踏査のうち、柳沢峠 大菩薩嶺 松姫峠 鶴峠区間を11月6日(土)7日(日)を予定する。詳細は後日。(北野)
終了後「鮭の家」で懇親会(10名)以上 (記録：今井)

お知らせ

次回の例会
日時 **2010年9月8日(水)** 18:30から
於：山岳会 ルーム
テーマ：山行計画、報告、ほか

ランドネ、モンタニユ、ガルヴィ、falo、OFガール
なんの名前かご存知だろうか？最近の書店に並んでいる雑誌の名前です。山溪・岳人しか知らないおじさんには、いつの間にこんなにも多くの「山ガール」系ファッション雑誌が発売されていたなんて全く驚きです。山ですれちがう若い女性のファッションに注目しながら歩く楽しさもいれものですね (kon)

AGCレポート vol-39 2010年9月01日発行
発行：日本山岳会・山岳地理クラブ(代表・北野忠彦)
〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
編集担当：近藤 E-mail：hikarikon@nifty.com